

目 次

『民法の倫理的考察』の巻頭に寄せて——法の継受：受け手の側の論理と抵抗
『民法の倫理的考察』の刊行にあたって
訳者序

序 論 民法学がなぜ倫理に拘るのか ————— 1

- I 倫理性は民法の基本的特徴の一つ 2
- II 民法の倫理的基礎 10
- III 倫理性を持つ民事慣習や民事伝統は民法の主なる淵源 16
- IV 倫理性は民法制定における主なる根拠 20

第1章 民法の倫理的考察 ————— 23

- I 倫理制度の概説 23
- II 倫理道德と民事法律制度の関係 29
- III 倫理道德の民事法律の実行に対する影響 34
- IV 倫理制度の各国の民法における影響と相違に関する分析 38

第2章 平等原則と民法の倫理 ————— 43

- I 平等と民法における平等原則 43
- II 民法の平等原則成立における倫理的基礎と経済的基礎 47
- III 民法における平等原則の内容 52

第3章 公平原則と民法の倫理 ————— 55

- I 民法における公平の概念と公平原則の歴史的考察 55

II	民法の公平原則成立における倫理的基礎と経済的基礎	60
III	公平原則の民法における地位	63
IV	公平原則と他の民法原則との関係	66
V	公平原則の倫理的意義及びその影響	69
第4章	意思自治の原則と民法の倫理	71
I	意思自治の意味と内容	71
II	意思自治原則の成立における社会経済の倫理的基礎	77
III	意思自治の原則の制限とその他の原則との関係	82
第5章	信義誠実の原則と民法の倫理	89
I	信義誠実の原則の基本概念についての考察	89
II	信義則の制度の基礎	96
III	信義則の地位・内容・役割	100
第6章	公序良俗の原則と民法の倫理	107
I	公序良俗の意味と類型	107
II	公序良俗の各国法律における運用	110
III	中国の公序良俗の制度	115
第7章	権利濫用禁止の原則と民法の倫理	120
I	権利と権利の衝突	120
II	権利濫用禁止原則の倫理的基礎	123
III	権利濫用禁止原則の作用と内容	124
第8章	民法の基本制度の倫理的分析	130
I	民事主体制度の倫理的分析	130
II	民事行為制度の倫理的分析	138

Ⅲ 民事代理制度の倫理的分析	146
----------------	-----

第9章 民法の財産関係における倫理的分析 ————— 149

I 民法の財産関係における倫理的分析の概説	149
II 民法物権制度における倫理的分析	152
III 民法債権制度における倫理的分析	161
IV 民法契約制度における倫理的分析	170
V 民法相続権制度における倫理的分析	192
VI 知的財産権制度における倫理的分析	198

第10章 民法の身分関係についての倫理的分析 ————— 209

I 公民人格権制度についての倫理的分析	209
II 婚姻家庭制度についての倫理的分析	227

第11章 民事救済制度についての倫理的分析 ————— 242

I 民事救済制度の本質についての倫理的分析	242
II 自力救済についての倫理的分析	244
III 公的救済についての倫理的分析	246

あとがき